

⚠️「花粉症」注意報、^{「まだまだ」}発令中⚠️

～ヒノキ花粉のピークは3月中旬から4月上旬!～

今年は暖冬に加えて季節外れの暖かさが影響し、スギ花粉の飛散開始が例年より早くなった所が多かったようです。九州地方は2月上旬がスギ花粉の飛散開始の予測でしたが、1月からすでに症状が出現していた方も多くおられました。
スギ花粉に引き続いて、**ヒノキ花粉のピークは3月中旬から4月上旬と予測**されています。雨上がりの日などは花粉の飛散が多くなりますし、特に晴れて暖かい日や風が強い日は花粉の飛散量が増えますので、万全な花粉対策を心がけて下さい。



👉 花粉症? 風邪? **セルフチェック**しよう!

花粉症の代表的な症状としてくしゃみ・鼻水・鼻づまりなどがありますが、重症化すると頭痛を起こしたり、睡眠の質の低下、仕事や勉強の効率の低下など**日々の生活に悪影響**を及ぼします。風邪でも同じような症状を呈することがあり、風邪だろうと放置してしまい、適切な花粉症の治療を受けずに症状が悪化してしまうケースもあります。

花粉症は、**今までなんともなかったのに突然発症することもあります**。そのため、今この症状が花粉症によるものなのか判断がつかない場合も少なくありません。花粉症と風邪の症状の違いについてセルフチェックできますので、花粉症かもしれない、普段の風邪とは何か違うなと思ったらお早めにご相談下さい。

症状	花粉症	風邪
くしゃみ	連続して何回も出る	連続することはまれ
鼻水	透明でサラサラしている	黄色みがかって、粘り気がある
鼻づまり	頻繁にある	頻繁にある
鼻の不具合	朝に症状が強くなる	時間に関係ない
目の症状	かゆみ、涙、充血	あまり症状は出にくい
ノドの症状	違和感	痛み、声のかすれ
発熱	熱はないが、あっても微熱程度	高熱が出ることがある
頭痛	ひどい場合に見られる	よく見られる
症状の期間	2週間以上	数日間

気軽に相談するっぴ



Doctor コラム

アレルギーで悩む人の救世主? 経口ナノ粒子製剤とは

花粉症の根治療法として舌下免疫療法によるアレルギー免疫療法が広く行われていますが、「口の中やノドの腫れ・かゆみなどの副作用がある」「3年以上にわたり毎日投薬が必要である」などが原因で、治療の途中で投薬をやめてしまう方もおられます。また、重症の気管支喘息の患者さんには舌下免疫療法が適応できない場合もあります。

最近、この**舌下免疫療法の副作用を起こりにくくし、治療効率を高める「ナノ粒子製剤」が開発**されたそうです。「ナノ粒子製剤」は、寒天やセルロースなどと同じ多糖類の「マンナン」で原因タンパク質(スギやダニ)を包んで服用することで副作用をほとんど起こさず、治療の負担が大きく軽減され、原因タンパク質を効率的に服用できるため、3年以上かかる治療期間の短縮や、重症の気管支喘息の患者さんへの治療も出来るようになる可能性があるとのこと。まだ臨床研究が進められている最中ですが、アレルギーで悩まれている人にとっては期待される治療薬であり、早期の実用化が待たれます。

